

製品名: UMOD ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86928

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1.9mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:70 kDa; Observed MW:115 kDa

抗原情報

遺伝子名	UMOD
別名	THP; FJHN; HNFJ; THGP; HNFJ1; MCKD2; ADMCKD2
遺伝子 ID	7369
SwissProt ID	P07911
免疫原	ヒト UMOD の組み換えタンパク質

背景

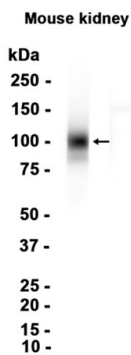
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、生理的条件下で哺乳類の尿中に最も多く存在するタンパク質です。ヘンレ係蹄の管

腔細胞表面に位置するグリコシルホスファチジルイノシトールアンカー型タンパク質の細胞外ドメインがタンパク質分解によって切断され、尿中に排泄されます。このタンパク質は、腎液中のカルシウム結晶化を恒常的に阻害すると考えられています。このタンパク質の尿中排泄は、尿路病原細菌による尿路感染症に対する防御機能を果たす可能性があります。この遺伝子の欠陥は、髄質嚢胞腎 2 型 (MCKD2)、高尿酸血症・等張尿症を伴う糸球体嚢胞腎 (GCKDHI)、および家族性若年性高尿酸血症性腎症 (FJHN) などの腎疾患と関連しています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエントが生じます。 [RefSeq 提供、2013 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



UMOD ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス腎臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。